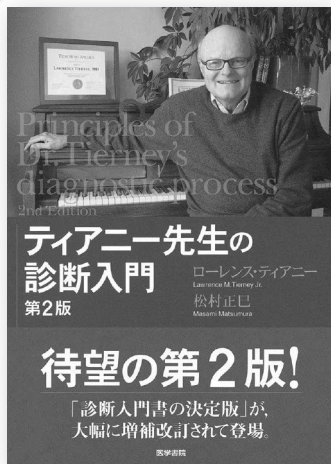




#今月の特集関連本



ティアニー先生の診断入門

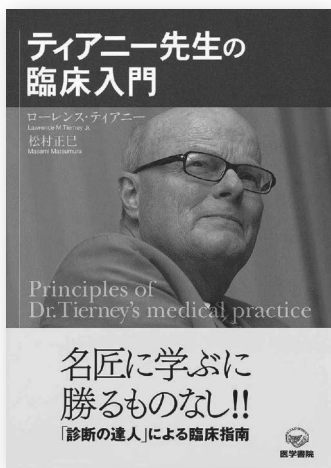
第2版

ローレンス・ティアニー、松村正巳＝著

本体 3,000 円＋税／A5 判・208 頁／医学書院／2011

特集総論「対談：診断戦略 2.0」(p.520)にご登場の志水太郎先生が“臨床上の親”と慕うローレンス・ティアニー先生の珠玉の3冊。

“診断の達人”“鑑別診断の神様”と呼ばれる、米国を代表する内科医ティアニー先生による決定版「診断入門」の第2版。「診断の原則と実際の進め方」をわかりやすく示すことで絶賛された初版に、大幅な加筆を加え、さらに内容を充実させた。まさに「診断入門書の決定版」であり、これを読まずして「診断」を語ることはできない。

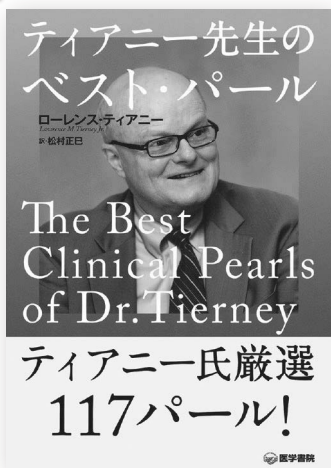


ティアニー先生の臨床入門

ローレンス・ティアニー、松村正巳＝著

本体 3,000 円＋税／A5 判・164 頁／医学書院／2010

ティアニー先生が、臨床医学の学び方と臨床修練の基本を綴った。医師はどう成長していくべきか、すぐれた臨床教育者として知られるティアニー先生ならではの臨床道が語られている。本書で初めて綴られたティアニー先生による「症例提示のスキル」も圧巻。



ティアニー先生のベスト・パール

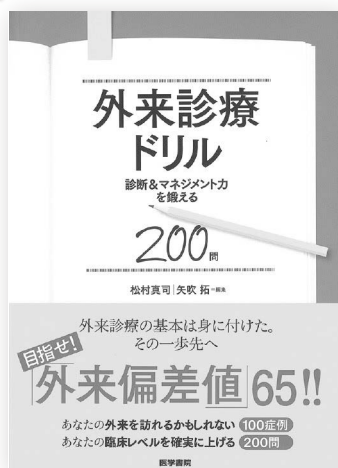
ローレンス・ティアニー＝著

松村正巳＝訳

本体 2,500 円＋税／A5 判・146 頁／医学書院／2011

米国の臨床現場には、指導医－研修医の間で語り継がれてきた、数多くの「臨床の知恵」がある。それらは、暗記できるくらいの短いフレーズにまとめられるとき、「パール」(clinical pearl)と呼ばれる。本書では、「パールの神様」として知られるローレンス・ティアニー先生が「ベスト・パール117」を厳選し、それぞれに解説を加えた(全ページ和英併記)。ティアニー先生、渾身の書下ろし！

第2弾『ティアニー先生のベスト・パール2』(2012)も好評発売中。



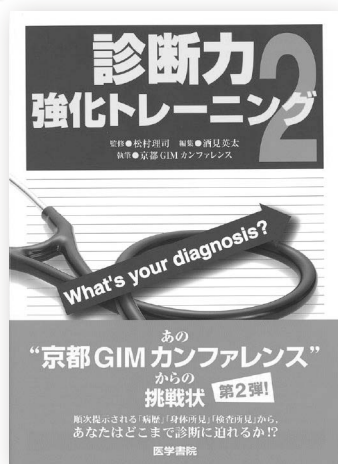
外来診療ドリル

診断 & マネジメント力を鍛える 200 問

松村真司、矢吹 拓＝編

本体 4,200 円＋税／B5 判・212 頁／医学書院／2016

あなたの外来を訪れるかもしれない 100 症例、臨床レベルを確実に上げる 200 問。内科系の外来ではコモンな症候・疾患の最新知見やトピックス、稀にだが遭遇しうる症候・疾患の知識、持ちかけられる多様な問題へのマネジメント。外来診療に必要な幅広い知識をエビデンスに基づいてアップデートする 1 冊。学び続けることで、外来診療はいつまでも進歩することができる。目指せ！ 外来偏差値 65!!



診断力強化トレーニング 2

What's your diagnosis?

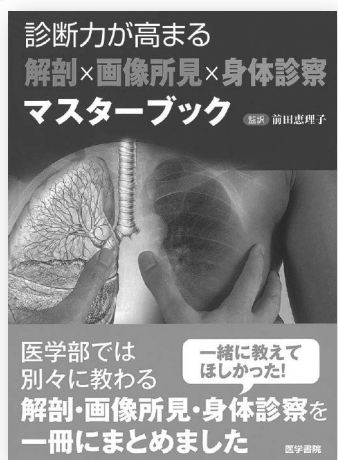
松村理司＝監修

酒見英太＝編

京都 GIM カンファレンス＝執筆

本体 3,800 円＋税／B5 判・256 頁／医学書院／2015

本誌連載「What's your diagnosis?」(p.512)の単行本化、第 2 弾!「京都 GIM カンファレンス」で順次提示される「病歴」「身体所見」「検査所見」をみて、あなたはどこまで診断に迫れるか!? よくある疾患だが稀な症候、よくある症候だが稀な疾患も続々登場。診断の「手がかり」はどこにある? 「めくらまし」にだまされるな! 臨場感あふれる 88 症例を追体験し、診断力を鍛えよう。こんな患者さんがあなたの前に来たら、何を聞き、何をしますか?



診断力が高まる

解剖×画像所見×身体診察マスターブック

Sagar Dugani, Jeffrey E. Alfonsi, Anne M. R. Agur, Arthur F. Dalley＝編

前田恵理子＝監訳

本体 5,800 円＋税／B5 判／408 頁／医学書院／2018

医学教育で分断して教えられがちな、解剖・画像所見・身体診察を有機的に統合して診断につなげるアプローチを紹介。具体的な疾患をベースに豊富な情報を収載し、システムティックに診断の流れを紹介しており、きわめて実践的なつくりとなっている。身体の部位ごとにまず基本知識をおさらいし、そのうえで症例をもとに統合的アプローチを学ぶという構成は、医学生・研修医にも好適。

今月の特集関連本



《ジェネラリスト BOOKS》 病歴と身体所見の診断学

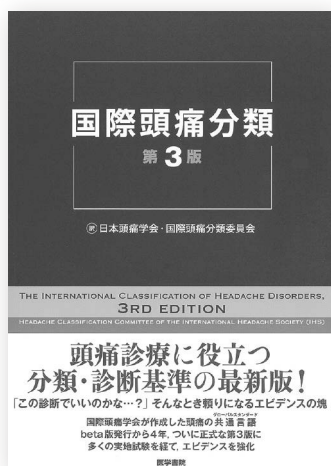
検査なしでここまでわかる

徳田安春＝著

本体 3,600 円＋税／A5 判・210 頁／医学書院／2017

本特集にて「蚊よけスプレーアレルギー」をご紹介くださった徳田先生(p.554)による五感とエビデンスの使い方の指南本。

病歴と身体診察で得られた情報から、臨床疫学的なアプローチで、精度の高い診断をめざそう！ 本書は、症例をもとに、指導医と研修医の問答形式で感度・特異度・尤度比の使い方が学べる実践書。付録には、即戦力となる「尤度比一覧」の PDF (ダウンロード形式) を掲載。



国際頭痛分類

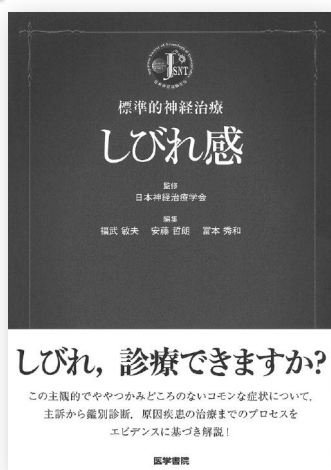
第 3 版

日本頭痛学会・国際頭痛分類委員会＝訳

本体 4,800 円／B5 判・280 頁／医学書院／2018

本特集の「SUNCT (p.536)」「前庭性片頭痛 (p.566)」の引用文献。

国際頭痛学会が作成した頭痛の分類・診断基準が、ついに正式な第 3 版に。前版から、多くの実地試験を経て、エビデンスが強化されました。堅い見た目ながら、研究はもちろん、臨床においてもよきパートナーになること請け合い。診断に困ったらぜひ本書を引いてみてください。役立つヒントがたくさんあるはず。神経内科医、脳神経外科医、総合診療医にとっては『慢性頭痛の診療ガイドライン』とともに手元に置いておくべき 1 冊。



標準的神経治療

しびれ感

日本神経治療学会＝監修

福武敏夫、安藤哲朗、富本秀和＝編

本体 3,400 円＋税／A5 判・144 頁／医学書院／2017

しびれ、診療できますか？

この主観的でややつかみどころのないコモンな症状について、主訴から鑑別診断、原因疾患の治療までのプロセスをエビデンスに基づき解説！

医学書院

ありそうでなかった！ しびれを呈する神経疾患の治療指針！ “しびれ”を呈する神経疾患に特化した日本神経治療学会作成の治療ガイドライン。一般的に診療場面で主訴として記載されることの多い「しびれ」のうち、感覚障害によるものを対象として、しびれの病態機序や検査からしびれの原因である神経疾患の概要とその治療までのプロセスを、しびれのエキスパートたちがエビデンスに基づいて解説する。「足根管症候群」(p.535)も解説しています。